

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver
株式会社奥村組 九州支店社屋・寮新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.39					3.2
1 音環境			2.5	0.15	2.7	1.00		2.6
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1	室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00		
2	設備騒音対策		-	-	-	-		
1.2 遮音			1.9	0.40	3.4	0.40		
1	開口部遮音性能		1.0	0.51	3.0	0.30		
2	界壁遮音性能		3.0	0.49	5.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	4.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			3.0	0.35	2.6	1.00		2.9
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50		
1	室温		3.0	0.38	3.0	0.57		
2	負荷変動・追従制御性		-	-	-	-		
3	外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43		
4	ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-		
5	温度・湿度制御		-	-	-	-		
6	個別制御		-	-	-	-		
7	時間外空調に対する配慮		-	-	-	-		
8	監視システム		-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			3.6	0.25	3.9	1.00		3.7
3.1 昼光利用			4.2	0.30	4.2	0.30		
1	昼光率	事務所:2.90%、寮室(病室):2.15%	5.0	0.60	5.0	0.60		
2	方位別開口		-	-	-	-		
3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			4.0	0.30	5.0	0.30		
1	照明器具のグレア		-	-	-	-		
2	昼光制御	事務所:ブラインド+庇、寮室(病室):外部ルーバー+庇+カーテン	4.0	1.00	5.0	1.00		
3	映り込み対策		-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境			3.5	0.25	3.6	1.00		3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63		
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00		
2	アスベスト対策		-	-	-	-		
3	ダニ・カビ等		-	-	-	-		
4	レジオネラ対策		-	-	-	-		
4.2 換気			2.1	0.30	3.0	0.38		
1	換気量		3.0	0.41	3.0	0.33		
2	自然換気性能		3.0	0.19	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮		1.0	0.41	3.0	0.33		
4	給気計画		-	-	-	-		
4.3 運用管理			4.4	0.20	-	-		
1	CO ₂ の監視		3.0	0.27	-	-		
2	喫煙の制御	2Fに喫煙室を設置	5.0	0.73	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		3.6
1 機能性			3.6	0.40	4.4	1.00		3.8
1.1 機能性・使いやすさ			3.3	0.40	5.0	0.60		
1	広さ・収納性	一人あたりの執務スペース:12㎡以上	5.0	0.18	5.0	1.00		
2	高度情報通信設備対応		3.0	0.18	3.0	-		
3	バリアフリー計画		3.0	0.64	-	-		
1.2 心理性・快適性			4.2	0.30	3.5	0.40		
1	広さ感・景観		3.0	0.18	4.0	0.50		
2	リフレッシュスペース		3.0	0.18	-	-		
3	内装計画	照明・内装計画を一体化して計画、インテリアパースにより事前検	5.0	0.64	3.0	0.50		
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-		
1	維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計	4.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
3	衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.6	0.31	-	-		3.6
2.1 耐震・免震			3.4	0.48	-	-		
1	耐震性		3.0	0.80	-	-		
2	免震・制振性能	免震システム採用	5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			4.3	0.33	-	-		
1	躯体材料の耐用年数	鉄筋かぶり厚さが品確法等級3に相当	5.0	0.23	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	カーテンウォール:30年以上	5.0	0.23	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内壁:ビニルクロス	4.0	0.09	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種以上にB使用	5.0	0.15	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源としてガスと電気使用、免震構造	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、精密機器の浸水の危険性がない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	2.0	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	1.0	0.50	
1	階高のゆとり	事務所:3.9m、寮室(病室):3.15m	5.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 建物全体:0.1以上	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		視点場からの良好な景観	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	庇や外部ルーバーで快適なアメニティに貢献	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		建物の熱負荷抑制に努めている	4.0	0.26	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.21	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽熱利用システムの採用	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率設備の採用	4.0	0.32	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR換算値=23%	4.0		-	-	
集合住宅の評価			-		-	-	
4 効率的運用			3.5	0.21	-	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	環境負荷の削減方針を計画	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水コマ、省水機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水を屋上緑化の散水に利用	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.63	-	-	4.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎・基礎梁等に高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	リサイクル材を3品目以上使用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	フリーアクセスフロア、移動間仕切りの採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	F☆☆☆☆の接着剤を使用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		地球温暖化への配慮を行っている	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場や駐車スペースを適切に確保している	4.0	0.50	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策を行っている	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	